

2022年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 高浜市商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価										備考			
				目標①		目標②		得られた効果		A B C D評価					今後の展開・改善点等		
				指標	実績数値	指標	実績数値	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②				
巡回・窓口相談指導事業	○小規模事業者の廃業により会員の減少傾向が続くなか、年間計画に基づき、組織をあげて小規模事業者に対する様々な相談及び指導を行う。また、未接触の会員事業者の状況を把握し必要な支援を行う。	○巡回窓口指導実企業数＝786件（内、非会員実企業件28件） ○巡回窓口指導延件数＝2,151件（内、非会員指導延件数69件） ○課題解決提案件数＝30件（経営指導員3人×10件） ○経営革新承認件数5件	小規模事業者	指標 巡回窓口指導延件数 (達成度 130.4%)	実績数値 2,151	指標 課題解決提案件数 (達成度 100.0%)	実績数値 30	○小規模事業者の持つ経営課題に対して、対応策を提案し実績を上げることができた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A	調査結果 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	○
記帳税務指導	○小規模事業者の経理・帳簿の記帳指導を行い、正確な税務申告と経営内容の把握ができる経理実務を指導する。 ○（公社）刈谷法人会高浜支部、（公社）刈谷法人会高浜支部女性部、高浜市青色申告会、刈谷納税貯蓄組合連合会高浜支部のいわゆる税務協力団体の事業運営の委託により、商工業者に税務知識の修得と納税意識を向上させる。	○指導対象者数＝48人 ○指導延日数＝229日 ○指導延回数＝666回	小規模事業者 各種団体構成員	指標 指導対象者数 (達成度 106.7%)	実績数値 48	指標 (達成度 %)	実績数値	○正確な税務申告財務内容の把握ができる経理事務の指導を行うことができた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A	調査結果 A	満足度 A	補足	目標① 上げる	目標② /	○廃業に伴う企業機械化事業所の減少はあるが、新規の申込があるため、目標値を上げる。
創業支援	○創業を目指す人達を対象に専門家による経営のノウハウ及び創業事業計画書作成の支援を行う。 ○事業が順調に推移するよう、創業後も定期的なフォローアップ支援を行う。 ○創業支援融資の斡旋と利子補給の斡旋を実施する。	○専門家による「たかはま経営塾」の開催＝計5回開催・受講者13人 ○創業事業計画書の作成支援＝4人 ○創業後フォローアップ支援＝46人 ○高浜市と提携して創業支援融資の斡旋と利子補給の斡旋。	創業予定者	指標 たかはま経営塾受講者数 (達成度 86.7%)	実績数値 13	指標 創業事業計画書作成支援 (達成度 200.0%)	実績数値 4	○経営塾受講生数は目標値に届かなかったものの、塾内にて2名の創業者をサポートすることができた。受講生数については、今後も変わらない目標数値とする。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A	調査結果 A	満足度 B	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	○
講演・講習会等開催事業	○多様化する経営環境に対応するため、小規模事業者にとつて必要な金融・税務等の知識習得や時事的な問題等について啓蒙を図り、事業者の資質向上と円滑な事業運営に寄与する。	○集団指導＝11回 96人 ・税務講習会、補助金講習会の開催（内、経営革新1回2人） ○個別指導＝24回 112人 ・金融相談、記帳相談、源泉・年調、決算・消費税指導会の開催	小規模事業者 一般市民及び 商工会会員	指標 集団指導回数 (達成度 183.3%)	実績数値 11	指標 個別指導回数 (達成度 96.0%)	実績数値 24	○本年度は、事業費対応型補助金にて、講演・講習会等開催費の負担が少なく、集団指導を多く開催することができた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A	調査結果 A	満足度 B	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	○
地域イベント事業	○高浜市の地域資源のPRと地域の活性化を図るため、高浜市内外の各種イベントに会員事業者の参加を促す。 ○会員事業者の売上と地域経済の活性化を図るため、ご当地グルメ「高浜とりめし」を活用した普及推進事業を行う。	○参加事業者28事業者 人形小路花祭り 開催日：令和4年5月7日、8日 5事業者 鬼みちまつり 開催日：令和4年10月15日 14事業者 ご当地グルメイベント 開催日：随時 9事業者	一般市民及び 商工会会員	指標 延参加事業者数 (達成度 121.7%)	実績数値 28	指標 (達成度 %)	実績数値	○新型コロナウイルスが収束しつつある中で、条件付きで開催される各種イベントに積極的に出展することで事業的のPRと売上げを確保することができた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A	調査結果 A	満足度 B	補足	目標① 現行どおり	目標② /	○
商工業振興事業	○消費者の生活形態の変化、郊外型大型店等への購買力流出など、地元小規模事業者が抱える様々な経営課題解決に向け、地域の活性化、集客力の向上につながる魅力あるイベント事業を実施し、地元商店の活性化に寄与する。	○高浜商店振興会のポイントカードの発行。 ・ポイントカード売上高＝2,000千円 ○市内循環バスの乗車券の発行及び販売へ販売。 ・利用券発行証明料取扱高＝600千円	小規模事業者	指標 ポイントカード売上高 (千円) (達成度 100.0%)	実績数値 2,000	指標 循環バス利用券発行証明料取扱高 (千円) (達成度 100.0%)	実績数値 600	○ポイントカードの活用や循環バス利用券の販売により、参加事業所の売上確保に貢献した。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A	調査結果 A	満足度 B	補足	目標① 現行どおり	目標② 下げる	○新型コロナウイルスの影響により、循環バスの利用者が減少のため目標値をさげる。
調査・広報事業	○会員事業所の満足度と必要性を調査する。 ○ホームページ、商工会報、一括配布物を活用し、会員への情報提供を行うとともに、新たな視点での情報提供方法について取り組む。	○配布物による情報提供＝年12回 ○商工会報の毎月発行＝年12回 ○満足度調査年1回実施	会員事業所	指標 満足度調査実施回数 (達成度 100.0%)	実績数値 1	指標 (達成度 %)	実績数値	○会員事業所について満足度と必要性を把握することができた。 ○ホームページ、商工会報、一括配布物を通して会員への情報提供、周知に努めた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A	調査結果 A	満足度 B	補足	目標① 現行どおり	目標② /	○ホームページの新着情報により、各種施策を会員事務所へタイムリーに伝える。

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付すこと。

2022年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 高浜市商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価										今後の展開・改善点等	備考								
				目標①		目標②		得られた効果		A B C D評価													
				指標	実績数値	指標	実績数値	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②										
労務関係支援事業	○中小事業主による労働保険の事務処理の軽減を図り、労働保険の適用促進、保険料の適正な徴収を図る。 ○市内事業主が、優秀な労働力の確保をし、経営基盤の充実に資するため、人財確保の支援を行う。 ○（一社）刈谷労働基準協会が行う、労働安全衛生講習等に参加する。	○労働者のセーフティネットである労働保険事務処理支援。 ・委託事業者 = 170事業者 ○中小企業退職金共済制度への加入促進。 ・新規加入者 = 0人 ○高浜、刈谷、安城、知立、東浦による合同企業説明会の開催。 ・参加企業数7社 ○（一社）刈谷労働基準協会に加盟する事業主に参加 刈谷労働基準協会講習会参加者=130人 ○たかはま就職フェア ・参加事業者 = 22社	会員事業所	指標	労働保険事務委託事業所数 (達成度 113.3 %)		指標	合同企業説明会参加企業数 (達成度 70.0 %)		○労働保険に加入することで、元請事業所などの信用度を高めることができた。 ○会員事業所の従業員採用に協力することができた。 ○各種経済団体の事業推進により、それぞれの経済団体の存在意義のアピールと地域社会の発展に関わることができた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価	調査結果への 満足度	補足	目標①	目標②						
				目標数値	150	実績数値	170	目標数値	10				実績数値						7	必要性	B	現行どおり	現行どおり
				目標数値		150	実績数値		10				実績数値						7	必要性	A	現行どおり	現行どおり
女性部対策事業	○商工業に携わる女性が経営知識等を得るとともに、部員の交流や地域社会との関わりをもつことにより地域社会の発展に寄与する。	○女性部 ・研修会、講習会、視察研修旅行の開催。参加人数10名 ・イベントへの参加、協力。 ・県女連・西三河支部女性部への参加	女性部一般会員及び一般市民	指標	女性部講演講習会参加人数 (達成度 100.0 %)		指標	(達成度 %)		○女性部部員の交流や地域社会との関わりを持つことにより地域社会の発展に貢献した。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価	調査結果への 満足度	補足	目標①	目標②	○女性部各種研修会及び講習会開催により部員相互間の信頼を高める。また、部員増強運動の実施に努める。 ○青年部はR5年度から活動を再開する。					
				目標数値	10	実績数値	10	目標数値					実績数値							必要性	B	現行どおり	
				目標数値		10	実績数値						実績数値							必要性	A	現行どおり	
部会・委員会事業	○部会事業を通じ、事業者間の交流や情報交換などにより参加事業者の発展及び地域振興に資する。	○商部会=地場産業である三州瓦活性化事業の実施(8名)、愛知県産業者燃油高騰対策支援金対応(41名) ○サービス部会=補助金申請の講習会開催(3名)、金融機関担当者会議(4名) ○運輸整備部会=マイカー整備点検教室の開催(23名)、愛知県燃油高騰対策支援金対応(17名) ○工業部会=経営計画策定講習会(参加者5名) (上記参加事業者合計=101事業者)	各部会員	指標	参加事業者数 (達成度 101.0 %)		指標	(達成度 %)		○コロナ禍でイベントは少なかったが、県産業者燃油高騰対策や、県産事業者燃油高騰対策など、支援施策を各部会として対応した。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価	調査結果への 満足度	補足	目標①	目標②						
				目標数値	100	実績数値	101	目標数値					実績数値							必要性	B	現行どおり	
				目標数値		100	実績数値						実績数値							必要性	A	現行どおり	
福利厚生対策事業	○事業主及び従業員の健康管理のため、健康診断を受診しやすい環境を提供する。 ○事業主及び従業員に対する福利厚生事業を行う。	○健康診断の受診率=年2回(受診者 622人) ○事業主、従業員及び家族に対する遊園地入場券割引利用券の発行。 ・利用者数=210事業者	会員企業及び従業員	指標	健康診断受診者数 (達成度 124.4 %)		指標	福利厚生利用事業者数 (達成度 175.0 %)		○会報で案内を送り、定期健康診断を周知するよう努めた。 ○目標を件数を超えた事業者にも、遊園地入場券割引利用券の発行ができた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価	調査結果への 満足度	補足	目標①	目標②	○福利厚生の案内を商工会員に配布することで、利用者の周知を図る。					
				目標数値	500	実績数値	622	目標数値	120				実績数値						210	必要性	B	現行どおり	現行どおり
				目標数値		500	実績数値		120				実績数値						210	必要性	A	現行どおり	現行どおり
中小企業共済等加入促進事業	○中小企業共済への加入を促進し、会員事業所の経営者、従業員の福利厚生と生活保障の充実に資する。 ○小規模企業共済への加入を促進し、経営者の節税と退職金対策の充実に資する。 ○倒産防止共済への加入を促進し、経営の安定と退職金対策の充実に資する。	○中小企業共済、小規模企業共済、倒産防止共済の加入促進を図った。(契約件数: 17)	商工会会員事業所	指標	中小企業共済等契約件数 (達成度 68.0 %)		指標	(達成度 %)		○新型コロナウイルスの拡散防止のため組織的な推進は実施しなかったが、未接触会員を中心とした中小企業共済等の加入勧奨を行い、事業所の家族、従業員の福利厚生を充実させ、安定した経営を推進できた。	総合評価 B	事業実施評価 B	自己評価	調査結果への 満足度	補足	目標①	目標②						
				目標数値	25	実績数値	17	目標数値					実績数値							必要性	B	現行どおり	
				目標数値		25	実績数値						実績数値							必要性	A	現行どおり	
会員増強事業	○国・県・市町村補助金の見直しや、小規模事業者会員の減少による自己財源の確保などから、会員増強事業により財政力強化を図る。	○商工会員への「会員紹介制度」の実施 ・実施時期=前期6月~8月・後期10月~12月=会員紹介事業者数 4 ○商工会未加入事業所へのダイレクトメールの実施 ・実施時期=9月 (新規加入事業者数=30事業者)	商工会員及び小規模事業者	指標	会員紹介事業者数 (達成度 133.3 %)		指標	新規加入事業者数 (達成度 150.0 %)		○会員増強事業により、商工会のPR及び未加入事業者の加入に努めた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価	調査結果への 満足度	補足	目標①	目標②	○今後も会員増強事業を現状どおり継続し、未加入事業者の加入促進に努める。					
				目標数値	3	実績数値	4	目標数値	20				実績数値						30	必要性	B	現行どおり	現行どおり
				目標数値		3	実績数値		20				実績数値						30	必要性	A	現行どおり	現行どおり

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付すこと。